

中津ロータリークラブ週報

2022-2023年度 中津RC会長テーマ

ENJOY ROTARY ロータリーを楽しもう！


IMAGINE
ROTARY

イマジン ロータリー

ジェニファー・ジョーンズ 2022-2023 RI会長テーマ

第3308回 2022年11月9日 点鐘:12:30

本日の出席者	会 員 数	47名	欠 席 者	事前：伊藤会員、中野会員、佐藤裕史会員（東龍IAC）
	出席対象者数	47名		富部会員、藤富会員、柿内会員、黒田会員、峯中会員、大東会員、大家会員、
	出 席 数	34名		重本会員、時松会員、土岡会員、和田会員、山本洋一郎会員、瀧会員
	出 席 率	72.34%	(13名)	
3305回の修正	出 席 率	78.72%	メークアップ	安藤会員、林会員、仲会員、山本昌豊会員（東龍IAC）、峯中会員（Eクラブ）、
	メークアップ	6名	アップ	瀧会員（横浜）
	修 正 率	85.11%	欠席者	柿内会員、黒田会員、三重野会員、大東会員、大家会員、恒廣会員、山本洋一郎会員
来 訪 者	大江憲成氏（観定寺住職）、田原和己会員（大分中央）			今週の歌 君が代 奉仕の理想

●会長の時間〔細川会長〕

2週間ぶりの例会です。この2週間、いろんなことがありました。後ほど理事指名委員長より報告があると思いますが、第71代会長候補を推薦する運びとなりました。これからは70周年に向けて粉骨砕身頑張って行きたいと思っています。本年度も4か月が過ぎ、もうすぐ半分です。70周年に向けしっかり準備をして、中津のためのどんな活動が出来るのか、メッセージを送って行きたいと思っています。

本日は観定寺住職の大江憲成氏によるゲスト卓話です。楽しみにしています。最後までよろしくお願い致します。

●幹事報告〔原岡幹事〕

- ・例会変更 宇佐八幡、日出、別府3クラブ
- ・週報回覧 中津中央、杵築
- ・その他回覧 米山特別寄付・ロータリー財団寄付に関する希望、ガバナー月信、メルボルン国際大会のご案内
- ・例会後、理事会を開催します。
- ・コロナ感染者が増加傾向にあります。マスク着用をお願いします。

●委員会報告

・理事指名委員会〔松永委員長〕

理事候補推薦者発表します。理事：池田修治会員、川原田和廣会員、三重野玉江会員、2024-25年度会長：伊藤敏宏会員、2023-24年度幹事：永岡侍紹央会員、2023-24年度会計：原岡知徳会員。12月第1例会の年

次総会で投票を行います。

連続して会長をされたのは初代と細川会長だけです。中津RCがいかに地域に貢献していくかということが大切です。是非、若い皆様を中心に中津RCを支えていただきたいと思います。

・誕生祝〔親睦委員会・三重野委員長〕

1950.11.5伊東右人会員、1962.11.7大東慶久会員、1957.11.18小倉清司会員、1971.11.30和田信会員

●ニコニコボックス

〔末廣会員〕私と同じ浄土真宗大谷派のゲストを歓迎。米山の寄付もお願いします。

〔細川会長〕道経一体経営セミナーのご案内。

〔小倉会員〕誕生祝いのお礼。

〔川嘉真人会員〕高校同級生のゲストを歓迎します。

〔伊東会員〕北海道旅行をしました。

〔川嘉真之会員〕娘さんが高校同級生のゲストを歓迎します。結婚記念日花束のお礼。

〔村上会員〕大学受験の時お世話になったゲストを歓迎します。

●ゲスト卓話

「大江家の源流と観定寺」

観定寺住職 大江憲成氏



1. 大江八幡宮の別当としての観定寺

天台宗の寺院として（平安時代・鎌倉時代）

中津一帯は天平の頃よりすでに「大江郷」と呼ばれ、宇佐八幡宮の所領としてあり、その中心に「大江八幡宮」が機能していた。（「郷社」）

「神仏習合」のうけとめ

「本地垂迹」:阿弥陀如来を本地として八幡神がこの世間に働きかける(垂迹)

本地(おもと)と垂迹(かたちをとって現れたもの)

- ・大江八幡宮は観定寺のご本尊阿弥陀如来の垂迹(大江八幡宮と観定寺の関係)
- ・観定寺の住職が大江八幡宮の社殿の前で『仏説阿弥陀経』を読誦。観定寺は寺とは別に大江八幡宮の仕事にも当たる(別当=社僧)

[参照] 黒田城下町ができる以前、大江郷はどのような地であったか。(大江八幡宮の前に設置されている案内板を参照)

「縁起では、天平12年(740)、宇佐宮に寄進された10郷のなかに大家郷があり、天平勝宝年間(749～757)、それらの10郷に八幡宮が勧請され、大江八幡宮もその時に創建されたと伝えられています。

渡辺重春の『豊前志』に、当今の大江社地は、往古とは甚く革りて狭く成れる由なり。然るは当年中津城も築かず、金谷堤も無かりし以前は、大家川社前を流れ、丸山(今の城地より、片端・殿町・新魚町の辺を懸けて呼びし惣名なりき)社後にありて、松杉など神々しく立ちて、甚美き宮地なりし」とあります。黒田如水(1548～1604)が中津を築城する際に神域を削り、細川忠興(1563～1645)が金谷堤を築き大家川を塞いだため大家川も細い流となるなど、神域も景観も随分変わりました。

中津祇園会の上祇園は、元々大江八幡宮の祭礼でしたが、明治13年(1880)、公園地に中津神社が創建されると踊車は同社へ寄進され、上祇園として巡行されるようになりました。

大江の岡の松「豊国の大江の岡の神垣は松も栄えむ万代までも」(日野資枝)(以下略)

2. 興正寺の末寺としての観定寺

天台宗より浄土真宗へ(～室町時代)

- ・浄土真宗の教えは興正寺お流れとして山陰地方から九州に伝播:…端坊(萩市)のながれ
- 興正寺は親鸞聖人のお弟子、真仏を開基とするお寺。(今、西本願寺の左にある)

- ・観定寺は本願寺門徒になる前に、すでにそのお流れをいただいていた。時代社会の混乱の中で、民衆と共に。

3. 本願寺實如上人のもとでの観定寺

本願寺の末寺として(室町時代～)

實如上人:第8世門主蓮如上人の第8子。主に九州全域、中国、四国、東北と地方に教えを弘めた。観定寺もその教えに出会い帰依し、一幅の御絵像が下付される。

開基:浄西「開基佛阿弥陀佛御絵像」(現存)

浄西が本願寺實如上人からご下付されたもので、

〈その裏書き〉「方便法身尊像

永正2年乙丑7月14日(1505)本願寺實如(花押)

興正寺門徒 豊前国下毛郡大江郷海津村 願主釋浄西」とある。

[参照]「実如」本願寺第9世ご門主。蓮如上人の第9子。

[参照]『九州真宗の源流と水脈』(中川正法ほか編・法蔵館・2014年)「豊後(大分県)から見た真宗の縮図」

観定寺



[注]
右後方奥の本堂は、享保年間の建造(上棟の銘あり)



大江八幡宮

第10回理事会議題

- ・前回議事録の承認
- ・10月会計報告
- ・12月例会プログラム
- ・12月7日クラブフォーラム(70周年実行委員会)
- ・70周年開催日について(2024年3月2日〔土〕午後)
- ・12月21日 3クラブ合同忘年例会
- ・R5年1月18日例会 クラブフォーラムの提案事項
- ・ポリオコンサート報告書

●例会のご案内

11月23日(水) 祝日週休会

11月30日(水) ゲスト卓話

日本青年会議所九州地区 大分ブ

ロック協議会会長 仲浩太郎氏



中津ロータリークラブ週報

国際ロータリー
第2720地区

事務局/〒871-0055 大分県中津市殿町1383-1 中津商工会館2F

TEL 0979-22-6908 FAX 0979-22-6909

E-mail nakatsu.r.c@feel.ocn.ne.jp URL https://www.nakatsu-rc.com

例会/毎週水曜日 12:30～13:30 ウィラルーチェ中津 TEL 0979-23-1122

●2022-2023年度

会長/細川 唯 幹事/原岡知徳 IT支援・RI情報・公共イメージ委員長/永岡侍紹史